



高崎セントラルロータリークラブ

会長 / 三井田 賢一 幹事 / 水上 勝之 会報委員長 / 竹内 僣暲

2008.1.22

2007-2008 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは分かちあいの心

2007-2008 17号 合併号

国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

2007-2008 クラブテーマ **ロータリーを磨こう、そして一歩向上しよう!**

■本日の例会 親睦例会、新年例会

■次回例会予定 29日(火)高崎南RC合同新年会

1月8日(火)高崎セントラルロータリークラブ例会報告

■三井田会長年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

会員、皆様におかれましては希望に満ちた良い年をお迎えになられたことと思います。

平素は、我がセントラルクラブの運営に深いご理解とご協力にあたり誠に有難うございます。年初にあたり、おかげ様をもちまして、クラブ運営が半年滞りなく運営できました事に心より厚く御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、赤福事件、牛肉偽装事件等社会を揺るがす年だったように思われました。

しかし我々ロータリアンには、職業奉仕があります。即ち、コンプライアンスの遵守であります。これが企業の健全経営につながる訳であります。

アメリカのロータリアン、全員が自慢する事があります。それは1929年の世界大恐慌の時、ロータリアンの事業所は1つも倒産がなかったとの事です。

此れこそロータリアンですね!社会が加速度的に価値を変化する時代全ての人にチャンスの扉が開かれています。

この扉を開けるには数々のチャレンジしかありません。高崎セントラルロータリークラブもこの情報、知識変化の並に新しい価値をドンドン生む知識集団、経済パルチザンになりたいものです。

当クラブもこれから変化していく中、市民や郷土に対して新しい価値観を提案し、豊かで住みよい町を実現するため全てのロータリアンの自己研鑽(バリューアップ)してまいりたいと思いますので此れからも皆様のお力で一歩でも実現したいものです。

昨年は、10月1日より、郵政民営化となりました。お客様には多くのご迷惑をお掛けしているかと思えます。時間が掛かりすぎ、とか取扱いが複雑かつ、面倒くさくなっている、とかありますが、公務員あのまままで民営化に突入してしまえば、それこそ(コンプライアンス違反)、不祥事の多発となってしまうでしょう。

最初は、この様に並以上に取扱いを充分過ぎるぐらいに致しませんと、後々、一般世間並みには、お付き合いが出来なくなってしまいますので、今しばらくご容赦願います。皆様が思っている、民営化とは程遠い業態でありますので、なが〜い目で見ていて下さい。自己宣伝でした。



さて、今年、十二支の内、子の年であります。子(ね、し)は十二支の1つ。通常十二支の中で第一番目に数えられます。

1. 子年西暦年を12で割って4が余る年が子の年と成ります。

2. 子の月は旧暦11月です。

3. 子の刻は深夜12時を中心とする約2時間。それにより、正午に対し、子の刻の中心である深夜を正子と言う。

4. 子の刻は北の方角であります。

(漢書)律曆志によると(子)は(孳)ふえる意味で、新しい生命が種子の中にさざし始める状態を表しています。後に、覚えやすくする為動物の鼠が割りと与えられた。俗説では、以下のような話が伝わっています。神が十二支の動物を決める際、家の門の前に来た順番に決めると事とした。丑は動きが遅いからといって真っ先に出かけ、一番に門の前に着いた。しかし、門が開けられるとき、丑の頭の上に乗っていた鼠が丑の前に飛び出たので、鼠が一番になったといひます。尚、猫も十二支に入れてもらおうと準備をしていたが、鼠が集合に日を間違えて教えたので十二支に入る事が出来なかった。それで、今でも猫は鼠を追い掛け回すのだというさうです。

今年度のクラブ目標であります(ロータリーを磨こう、そして一歩向上しよう!)を皆さんは充分に実行して頂きました。そして又、明るく、楽しく、朗らかな例会と会員相互の親睦が充分に行われたと思っております。

後半年、会員増強と100%出席に近いものを行いたいと思っておりますので、後半年、皆様のご協力をお願い致します。

これから、半年の間ロータリー活動は、先ず、今月の新年例会、2月の南クラブとの新年例会、23日RI創立記念日、3月のクラブ奉仕の、茶道例会、予定23日の植樹例会、新潟南クラブ、高崎南クラブ合同の花見例会、5月の写経例会と楽しい例会が続きます。

後半年、是非とも100%出席で例会を楽しみましょう。新年早々のご挨拶でありましたが、皆様へのお願いと成ってしまいました。今年もよろしくご指導お願い致します。



■雑誌の日

ロータリーの友紹介吉村君 RI会長メッセージとして **ポリオは少しでも手を緩めると……**

ポリオ撲滅キャンペーンがはじまる(1988年)以前は、1日約1,000人、年間35万の子供たちがこの恐ろしい病気のためにまひを起こしてい

ました。これらの子供たちに残された苦闘と障害、そして社会的な汚名の中での人生でした。今日では、ポリオが残っている国が4か国だけになり、ポリオによるまひの症例は、年間1,000件まで減っています。私たちはここまでやってきました。しかしながら、野生ポリオウイルスの性質から考えると、私たちがほんの一瞬でも努力の手を緩めるということは、私たちが一生懸命に努力してきたことが、すぐに後戻りしてしまうことになるのです。私たちが選ぶ道はたった二つしかありません。決意をもって成功を勝ち取るまで押し進むか、あるいは、これまでに投資したすべてと、得てきたもののすべてを失うかです。



■三井田会長連続出席7年の表彰



■今月の誕生日 左から森本 淳君、嶋方 徳郎君、高木 賢治君、乾 宏行君



◀永井さんの独唱 千の風になって

今月のピアニスト▶ 永井 美加さん

ニコニコBOX

- 竹内 僣暲 君 三井田年度折り返しです。後半年宜しくお祝い致します。
- 橋爪 良真 君 あけましておめでとうございます。四月に当山に龍が七頭やってきますので、宜しく御支援のほどを。
- 関口 朋克 君 あけましておめでとうございます。本年も財団・米山宜しくお祝いします。
- 嶋方 徳郎 君 本人の誕生日
- 栗原 信幸 君 新年明けましておめでとうございます。
- 乾 宏行 君 本人の誕生日及び先月初孫が生まれました。元気な女の子です。
- 森本 淳 君 新年おめでとうございます。本人の誕生日1月21日で61歳になります。

■論語より■

論語 子曰く、君子は諸れを己に求む。小人は諸れを人に求む。

孔子がいわれた。物事をなすのに、君子はまず自分の力でやろうとするが、小人は他人に頼ろうとする。

企業でも社員を見ていると二種類ある。困難な仕事も敢然と立ち向かって、なお意気さかんな人もいれば、出来るだけ責任を回避して他人に頼ろうとする人もいる。最近の後者のタイプが多いような気がするが、若いも若きも「青年よ大志を抱け」と、積極的に、挑戦的であってほしいものである。 ※「声に出して活かした論語70」 三戸岡道夫 より抜粋



1月9日(水)高崎6RC合同新年例会報告



▲松浦高崎市長の挨拶 9日ビューホテルに於いて高崎6クラブ新年合同例会が行われました。来賓として松浦高崎市長・原商工会議所会頭・重田政信国際ロータリー理事をお迎えしての例会でした。点鐘・ロータリーソングの後ご来賓の方々から祝辞をいただきました。その後、一年に一度の合同親